

作成日 2025 年 3 月 13 日

安全データシート

1. 【 化学品及び会社情報 】

製品名 **ハーモニーDF**
供給者の会社名称 丸和バイオケミカル株式会社
住所 東京都千代田区神田須田町 2-19-23
担当部門 開発本部 登録・環境グループ
電話番号 / FAX Tel: 03-5296-2313 Fax: 03-5296-2323
推奨用途 除草剤
使用上の制限 農薬登録以外の使用は不可
整理番号 24468-01

2. 【 危険有害性の要約 】

化学品の GHS 分類(分類 JIS)

環境有害性 水生環境有害性 短期(急性) 区分 1
水生環境有害性 長期(慢性) 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き【安全対策】

環境への放出を避けること。

【応急措置】

漏出物を回収すること。

【保管】

なし

【廃棄】

内容物/容器は、承認された廃棄物処理施設で処分する。

3. 【 組成及び成分情報 】

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名

チフェンスルフロンメチル:

メチル=3-(4-メトキシ-6-メチル-1,3,5-トリアジン-2-イソカルバモイル
スルファモイル)-2-テノアート

成分及び含有量

化審法 No.

安衛法 No.

CAS No.

<有効成分>

チフェンスルフロンメチル 75.0% — — 79277-27-3

<その他>

鉱物質微粉、界面活性剤等 25.0%
(ステアリン酸マグネシウム 1.0%) (2)-611 — 557-04-0

4. 【 応急措置 】

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動する。呼吸困難または不快感が生じて持続する場合は、医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類と靴を脱ぎ、直ちに石鹼と大量の水で洗い流すこと。中毒情報センターまたは医師に連絡して治療に関する助言を求めること。

眼に入った場合	眼に入った場合には、直ちに大量の水で洗い、医師の診断を受けること。数分後にコンタクトレンズを外して、もう一度洗い流すこと。中毒情報センターまたは医師に連絡して治療に関する助言を求めること。
飲み込んだ場合	意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。中毒情報センターまたは医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。飲み込むことが可能ならコップ一杯の水を飲ませる。

5. 【 火災時の措置 】

適切な消火剤	水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素(CO ₂)
使ってはならない消火剤	棒状注水を避ける(汚染のおそれ)
火災時の特有の危険有害性	熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。 二酸化炭素、窒素酸化物(NO _x)。
特有の消火方法	風上から作業し、風下の人を退避させる。 消火水が、地表水や地下水系を汚染するのを防ぐ。火災の残留物や汚染した消火用水は、関係法規に従って処理する。流出を制御する。 水噴射で容器/タンクを冷却すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	自給式呼吸装置及び適切な保護具を着用する。

6. 【 漏出時の措置 】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	人員を漏出/流出物から遠ざけ、風上に避難させること。粉じんの形成を避けること。保護具を使用する。保護措置については、項目 8 を参照する。
環境に対する注意事項	安全に行えるのであれば、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。地上水または下水施設に流さないこと。重大な漏出を封じ込めることができない場合は、地方自治体に報告しなければならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	流出を防ぐ。シャベルですくい出すか、拭き取る。密閉できる空容器に回収する。こぼれた場所、道具、設備を最低 1 時間は酢-アルコール溶液に浸した後、漂白剤、石鹼、水で洗って中和する。洗浄水を吸収し、収集した廃棄物を加える。廃棄物は、リサイクルまたは処分の前に、分類し、ラベル付けをしなければならない。項目 13 に記された廃棄物の処理をする。

7. 【 取扱い及び保管上の注意 】

取扱い	
技術的対策	粉じんの吸入を避ける。十分な換気を確保する。 眼、皮膚や衣類へ付着しないように気をつける。
安全取扱注意事項	取扱後は手や衣類をよく洗う。
接触回避	強力な酸化剤、強酸、強塩基との接触を避ける。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管する。密閉容器に入れて保管する。子供の手の届かない場所に保管する。汚染を防ぐため飲食物を貯蔵あるいは摂取したり喫煙する場所には保管しない。50°C以下の温度に保つ。
安全な容器包装材料	情報なし

8. 【ばく露防止及び保護措置】

許容濃度等	
管理濃度	設定されていない。
日本産業衛生学会(2024年版)	第1種粉じん(吸入性粉じん:0.5mg/m ³ 、総粉じん:2mg/m ³)
設備対策	特に、閉所では十分な換気の確保が必要。
保護具	
呼吸用保護具	性能のよい防じんマスクまたは農薬散布用マスクを着用する。
手の保護具	保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具	長袖の上着及び長ズボン等の作業着を着用する。

9. 【物理的及び化学的性質】

物理状態	固体
色	類白色
臭い	情報なし
融点/凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界	情報なし
/可燃限界	
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	4.4(25°C)
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
(log値)	
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	見かけ比重 0.73
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

10. 【安定性及び反応性】

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の温度及び保管条件で安定
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	強力な酸化剤、強酸、強塩基
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、窒素酸化物(NO _x)

11. 【有害性情報】

急性毒性(経口)	ラット LD ₅₀ : ♂ ♀ >5000mg/kg(区分に該当しない)
急性毒性(経皮)	ラット LD ₅₀ : ♂ ♀ >2000mg/kg(区分に該当しない)
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	ラット LC ₅₀ (4h): >5.3mg/L(区分に該当しない)
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ:刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性	ウサギ:中等度の刺激性
/眼刺激性	
呼吸器感作性又は皮膚感作性	モルモット:動物実験では感作性なし

生殖細胞変異原性*	細菌及び哺乳類の培養細胞での試験では、変異原性はみられなかった。動物実験では突然変異はみられなかった。
発がん性*	発がん性はみられなかった。
生殖毒性*	動物実験では、生殖毒性、催奇形性は示されなかった。繁殖性に対する影響なし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	情報なし
	*チフェンスルフロンメチルのデータ

12. 【環境影響情報】

生態毒性	
魚類	ブルーギルサンフィッシュ LC ₅₀ (96h)>520mg/L ニジマス LC ₅₀ (96h)>410mg/L
甲殻類	オオミジンコ EC ₅₀ (48h)>320mg/L
藻類	イボウキクサ EC ₅₀ (14日)>0.00172mg/L
残留性/分解性*	難分解性
生体蓄積性*	生体蓄積性なし
土壤中の移動性*	移動性なし
オゾン層への有害性	情報なし
	*チフェンスルフロンメチルのデータ

13. 【廃棄上の注意】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(或いは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託する。</p> <p>国及び地方自治体による規則に従う。この製品が、排水や水路、地面に流れ込まないように留意する。</p> <p>空き容器を廃棄処理する場合は、内容物を完全に除去し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。空の容器を再使用しない。</p>
--	--

14. 【輸送上の注意】

国連番号	3077
品名(国連輸送名)	環境有害物質(固体)(チフェンスルフロンメチル)
国連分類	9(有害性物質)
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	<p>[積載] 国及び地方自治体の輸送に関する法律を遵守する。容器に収納し、常に密閉状態を保つ。容器などが転倒し、又は破損することのないように積載する。有蓋車又はシート等を掛けて運搬する。梱包が破れないように水漏れや乱暴な取扱いを避ける。</p> <p>[予防] 保護具を携帯する。</p>
国内規制がある場合の規制情報	労働安全衛生法、航空法、船舶安全法
応急措置指針番号	171

15. 【 適用法令 】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

農薬取締法	第24468号
化学物質排出把握管理促進法 (化管法)	該当なし
労働安全衛生法	第57条 表示対象物、第57条の2 通知対象物 ステアリン酸マグネシウム(令別表第9の327) (令和7年4月1日以降は規則別表第2の1131)
毒物及び劇物取締法	該当なし
消防法	該当なし

16. 【 SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報 】

参 考 文 献:エフエムシー・ケミカルズ株式会社安全データシート

緊急連絡先:03-5962-9731(9時~17時 土日祝を除く)

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 365日24時間対応

	一般市民専用電話 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1件2000円)
大阪	072-727-2499	072-726-9923
つくば	029-852-9999	029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

記載内容は十分な配慮に基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは情報を提供するものであって、品質や安全性等に関していかなる保証もするものではありません。危険・有害性等の評価は必ずしも万全ではありませんので、取扱いには十分注意を払って下さい。また、注意事項は通常の見直しを対象としております。